

香港の紹介

～東倉 雄三 渉外部会 中華圏担当 記～

一般的に日本語では「ホンコン」と発音しますが、これは、広東語の発音から来ています。香港は、1842年の南京条約などにより清朝からイギリスに割譲された土地と租借地で、以降はイギリスの植民地となりましたが、1997年7月1日にイギリスから中華人民共和国に返還され、特別行政区に改編されました。その歴史から英語表記も広東語のまま「Hong Kong」となり、「ホンコン」が一般的になりました。

中国語の標準語（普通語、北京語、マンダリンとかとも言われますが）では、Xiang Gang（シャンガン）と発音され、ホンコンとは全く違う発音で使われております。

香港は中華人民共和国の特別行政区の一つであり、北京や上海等の中国大陸側と、また隣の島のマカオ（旧ポルトガル領）ともお金も違うし、パスポートも必要で殆ど違う国同士の様です。

上記の歴史的背景もあり、香港は国ではなく中華人民共和国の「地域」ですが、地域の旗があり、香港剣道協会は中華人民共和国よりも早く、FIK（国際剣道連盟）に登録されているので、世界大会では「国」と同等の扱いで、出場しております。

香港はアジアの中継貿易拠点として、早くから日本含め海外各国との交流があり、剣道も日本との文化、経済交流の一環で日本人駐在員を介して伝わっていきました。香港の人口は現在約 700 万人。剣道人口は、登録者で約 700 人程です。

今回香港から来られるメンバーの黄（ウオン）さんは、長きに渡り香港剣道協会の会長をされ、FIK でも要職に就かれておりました。大きな功績として 2001 年から始められた 2 日間のアジア香港オープン大会。日本を含むアジア各国より、延べ700人以上が参加される アジアの剣道家の一大剣道祭となっております（下の写真）。



広東語、北京語、英語、日本語が飛び交い、アジア各地域のローカル剣士や日本人駐在員等皆が一緒になって地域代表チームを作り、覇権を争う大会は大いに盛り上がり、夜の Party では 500 人以上の同窓会のような剣道家の交流は、まさに交剣知愛が実践されていると実感されます。

また世界大会の香港代表チームメンバーの陳（チャン）兄弟は香港人のお父さんと日本人のお母さんを持ち日本語もお上手。お父さんが剣道を始められるのと同時に子供の頃から剣道を始め、親子二代で香港代表チームのメンバーになられております。陳兄弟をはじめ、香港代表メンバーの厚木市剣道選手権での活躍も楽しみです。

<香港 地域の旗>

